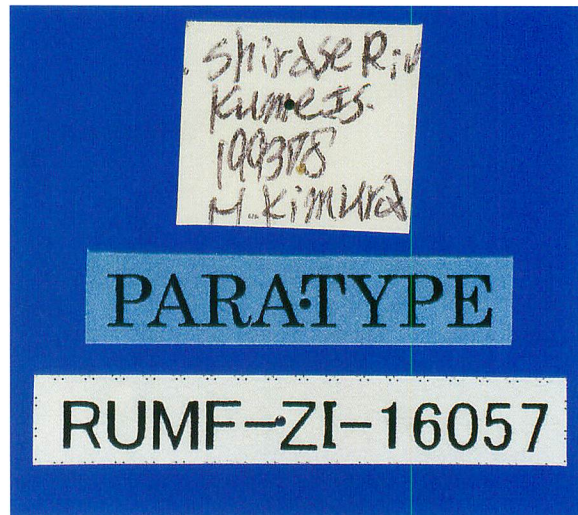


琉球大学学術リポジトリ

[和名] クメジマボタル [学名] *Luciola owadai* M.
Sato & Kimura, 1994

メタデータ	言語: 出版者: 琉球大学資料館 (風樹館) 公開日: 2009-10-16 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 木村, 正明 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/12679

クメジマボタル

Luciola owadai M. Satô & Kimura, 1994

Paratype (RUMF-ZI-16057)

原記載 : Satô, M. and Kimura, M., 1994, Discovery of a new firefly of the genus *Luciola* (Coleoptera, Lampyridae) from Kume-jima of the Ryukyu Islands. *Elytra*, 22 (1): 159-162.

タイプ標本データ

ID	標本種別	採集場所	採集日	採集者	性別	保存状態
RUMF-ZI-16056	Paratype	日本沖縄県久米島白瀬川	1993/05/08	木村正明	♂	乾燥
RUMF-ZI-16057	Paratype	日本沖縄県久米島白瀬川	1993/05/08	木村正明	♂	乾燥
RUMF-ZI-16058	Paratype	日本沖縄県久米島白瀬川	1993/05/08	木村正明	♂	乾燥
RUMF-ZI-16059	Paratype	日本沖縄県久米島白瀬川	1993/05/08	木村正明	♂	乾燥
RUMF-ZI-16060	Paratype	日本沖縄県久米島白瀬川	1993/05/08	木村正明	♀	乾燥

クメジマボタルの発見はまったくの偶然であった。1993年の春、国立科学博物館の大和田守博士と蛾の調査のため久米島を訪れた時のことである。4月27日の晩、灯火採集の白幕に1匹のホタルが飛来した。この見慣れない大きなホタルを掴み、「こんなのが琉球にいたかな？」と首を傾げた。灯火採集を終え、静まりかえった星影の森に目をやると、幾筋もの光の軌跡が…。慌てて光を目指して谷底に降りてみると、そこには無数のホタルが乱舞していた。その美しさに感嘆の声を上げつつ、「新種かもしれない」と胸躍らせながら長竿の捕虫網を夢中で振り回した。興奮冷めやらぬまま、深夜にも関わらずホタル分類の権威である佐藤正孝先生に電話で報告した。先生の弾んだ御様子に、新種の期待は確信に変わった。初めに白幕に飛来した1匹以外、得られた標本はすべて雄だったので、5月8日の昼間に雌を探しに再び同地を訪れた。白瀬川上流の溪畔の草むらのあちこちには、多数のホタルがとまっていた。私はホタルを眺めながら、しばし新種発見の喜びに浸っていた。

(木村 正明)